

2019年度(令和元年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(16)番 福山市立中央中学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	課題発見・解決力	思考力・判断力・表現力	協調性
めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童生徒の姿)	自ら課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を通して新たな課題を見つけ、さらに解決しようとする。	既習事項を活用して、他者の考えや意図を感じながら聴き、自分の考えの変化を簡潔に分かりやすく発表しようとしている。	授業や学級活動、生徒会活動の中でライフスキル教育などの手法で生徒同士が関わり合い、自己表現・意志決定をし、つながりをつくろうとしている。

2 授業の現状

課題や問題を解決する時、自分の考えを分かりやすく書いたり、説明したりすることに課題がある。



3 めざす授業の姿

生徒が主体的に学習に取り組み、探究的、協働的な学習を充実させることで、自らの考えを深めたり、広げたりすることができる。

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
<ul style="list-style-type: none"> ○「協働する活動」や「活用する場面」を単元計画に取り入れる。 ○自分の考えを、分かりやすく書く場面や、説明する場面を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ペアやグループを活用するなどして対話的な授業を行っている。(87.5%) ○自分の考えをわかりやすく書いたり説明することができる。(75.0%) 	<ul style="list-style-type: none"> ○各教科ごとに、生徒が主体的に考え、対話活動をしている場面をA4で1枚にまとめ共有する。 ○「協働する活動」や「活用する場面」を効果的に取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○協働学習で、自分の考えを深めたり広げたりすることができる。(84.5%) ○自分の考えをわかりやすく説明することができる。(68.6%) 	<ul style="list-style-type: none"> ○各教科、生徒が主体的に取り組み、考えを深めたり、広げたりする場面を1枚にまとめ、共有していく。 ○自分の考えをわかりやすく説明する場面を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域、職業、高校などについて、調べたことを交流し、考えを深めながら発表する中で、自分の考えを深めたり、広げたりした。

5 取組の結果等

数値は2019年(R元年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%)	〈児童生徒質問紙調査〉(%)	(肯定的評価)
国語	74.0(+0.8)	自分にはよいところがある
算数(数学)	56.9(-3.4)	先生はよいところを認めてくれる
英語	55.7(-0.8)	将来の夢や目標を持っている

()は県平均との差

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 11／48	長座体前屈において目標設定値を上回ることはできなかつた。	男子・長座体前屈	動的ストレッチ、クールダウンには静的ストレッチを取り入れる。
(女子) 11／48		女子・立ち幅跳び	

目標値	重点課題の種目において、県平均を上回れるように継続的かつ総合的に取り組む。

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	当てはまる	当てはまらない
仕事にやりがいを感じている	78.9	21.1
仕事に充実感がある	78.9	21.1

暴力行為発生率・不登校児童出現率 (%) (2)月末現在	
暴力行為	0.6
不登校	8.8

児童生徒アンケート(%) (12)月実施

質問項目	当てはまる	当てはまらない
授業で考えることが面白い	72.2	27.8
自分の考えは、認められている	75.7	24.3